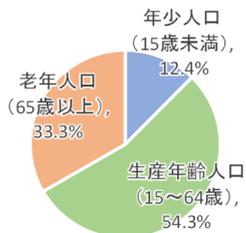


井 土 (いど)

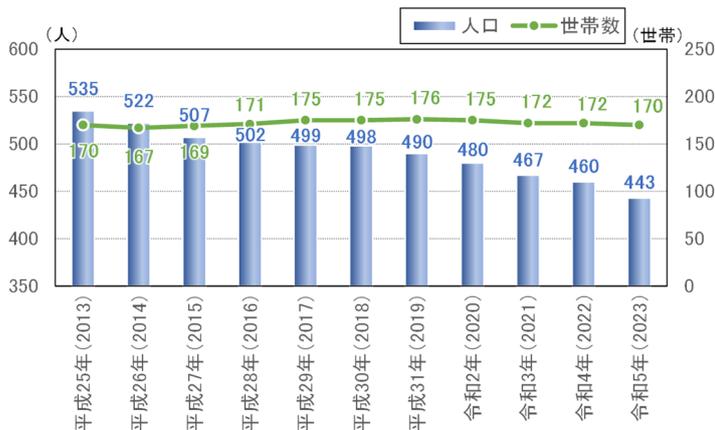
人口・世帯数等 (令和5年4月)

人 口	443 人
世 帯 数	170 世帯
高齢化率	33.3 %

年齢別人口割合



人口・世帯数の推移 (過去10年間)



区域の概要

立 地 集落の東西は山で、家屋は北西に流れる岸田川の河岸段丘上に細長く散在し、北から黒坂、城坂、井土、八日市、出合の5つの集落からなる。集落の東側を県道浜坂井土線が走り、道路と川の間には田畑が開ける。

地名由来 古代の面治軍団 (古代律令制における軍事組織) の射所がなまって、「いど」と呼ばれるようになったとも伝える。

歴史等 字城坂からは土器片・古代瓦が出土し、白鳳期の井土廃寺の塔心礎がある。また、古代山陰道の面治駅家と推定される八日市付近からは須恵器片が出土する。古代二方郡郡衙跡とみられる郡治の地名も残る。中世には、井土城、黒坂城があり、河越氏、黒坂氏の居城であったと伝える。

近世の井土村は、天正11年 (1853) 因幡国鳥取城主宮部氏領、慶長6年 (1601) 同国若桜藩領、慶長10年 (1605) 旗本宮城氏知行、寛永20年 (1643) 幕府領、寛文8年 (1668) からは豊岡藩領となった。天保5年 (1834) の『但馬国郷帳』 (天保郷帳) の村高は255石余。枝郷に枝郷に八日市・黒坂がある。

明治22年 (1889) 温泉村の大字となり、昭和2年 (1927) からは温泉町の大字となる。明治24年 (1891) の戸数79、人口は男210・女201。

これまで把握している文化財

文化財の件数 34 件 (うち指定等文化財 0 件)

大分類	中分類	小分類	把握件数	指定等
有形文化財	建造物	建築物	1	0
		石造物	1	0
		工作物・その他の構造物	0	0
	美術工芸品	彫刻	6	0
		絵画	0	0
		工芸品	0	0
		書跡・典籍	0	0
無形文化財	古文書・歴史資料・考古資料	1	0	
	音楽	0	0	
	演劇	0	0	
	工芸技術	0	0	
	その他の無形文化財	0	0	
民俗文化財	有形の民俗文化財	信仰の場	3	0
		祭具	0	0
		民具	0	0
	無形の民俗文化財	その他の有形の民俗文化財	0	0
		年中行事・民俗芸能	2	0
		民俗技術	0	0
記念物	遺跡	食文化	0	0
		民間説話・俗信	2	0
		その他の無形の民俗文化財	0	0
		散布地・集落跡・生産遺跡	7	0
		古墳・その他の墓	5	0
		城館跡・寺社跡	5	0
	名勝地	街道・古道等	0	0
		戦争遺跡	0	0
		その他の遺跡	0	0
		山岳・高原・丘陵	0	0
		海岸・海浜・島嶼	0	0
動物・植物・地質鉱物	河川・瀧・渓谷・湖沼	0	0	
	公園・庭園	0	0	
	その他の名勝地	0	0	
動物	動物	0	0	
	植物	1	0	
地質鉱物	地質鉱物	0	0	
	文化的景観	生活・生業・風土により形成された景観地	0	0
伝統的建造物群	宿場町・城下町・農漁村等	0	0	



井土城坂の六地蔵



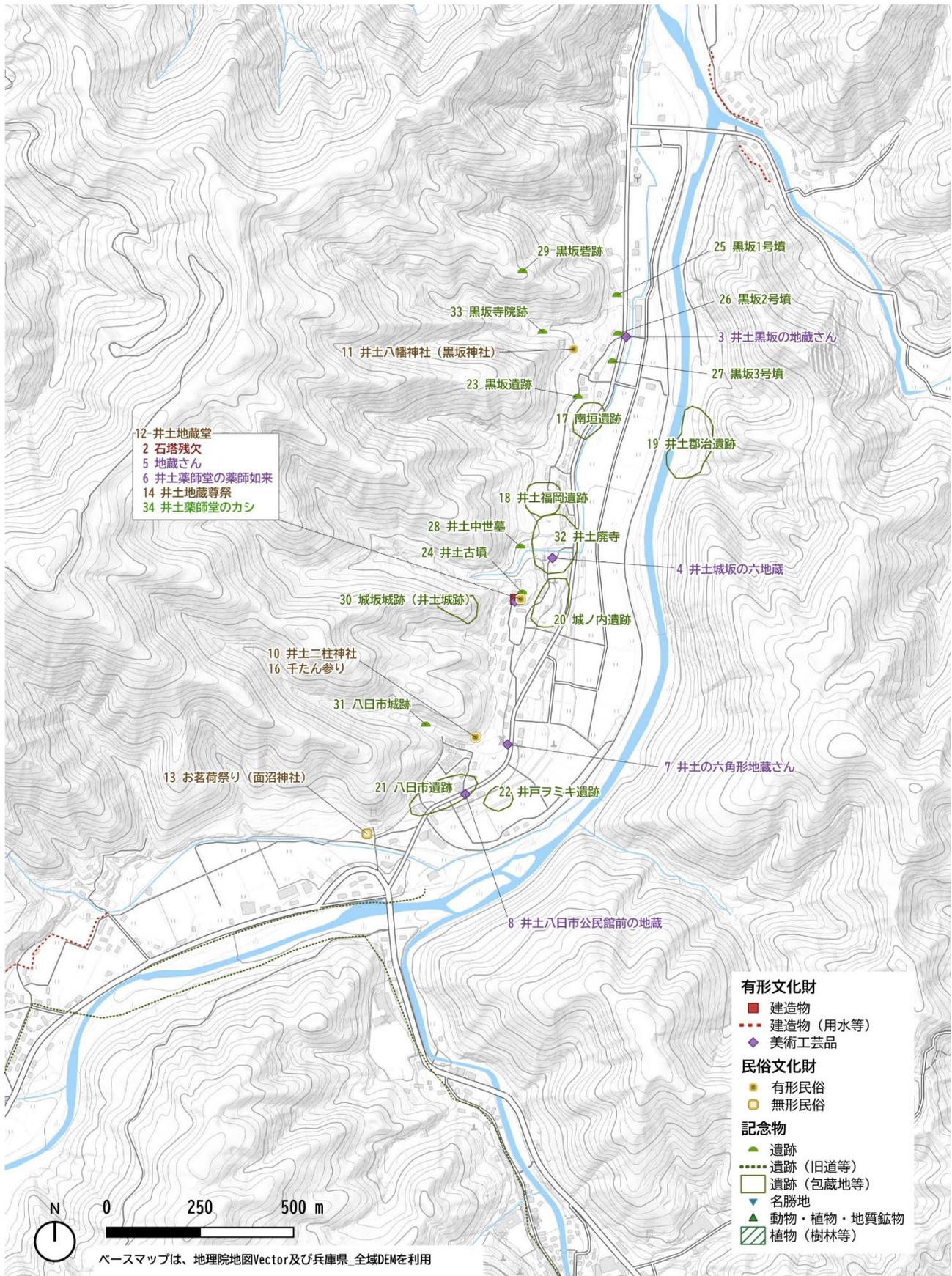
井土地蔵堂



井土廃寺(塔心礎)

※人口・世帯数は住民基本台帳 (令和5年4月現在) による。

文化財の分布



※所在地の掲載可能なものに限る

4-08 井土

文化財の一覧

■ 有形文化財／建造物

分類	番号	名称	概要
建築物	1	黒井家住宅	明治時代の木造二階建・瓦葺。農家建築。改修されているが門構えなどは現在も趣がある。
石造物	2	井土地蔵堂の石塔残欠	井土村の入口の旧道を登った先の広場の大きな檜の古木の根元に宝篋印塔の笠、五輪塔の残欠などが積み上げられ、石垣のようになっている。

■ 有形文化財／美術工芸品

分類	番号	名称	概要
彫刻	3	井土黒坂の地蔵さん	73×45cmの石像。全高は115cm。県道黒坂口にある。
	4	井土城坂の六地蔵	75×30cmの石像6体。城坂の道路端に立つ。寛政8年(1796)の銘がある。
	5	井土地蔵堂の地蔵さん	28×21cmの石像。井土村の入口の旧道を登った先の広場右側に地蔵堂、左に阿弥陀堂がある。地蔵堂中央の厨子の中に、舟形光背納衣立像、共石円形座の尊像がある。但馬六十六地蔵尊霊場の第4番札所。合掌形で衣文は風化して判然としなない。江戸時代中期より古い造像と思われる。
	6	井土薬師堂の薬師如来	68×22cmの石像。薬師堂内に安置されている。
	7	井土の六角形地蔵さん	65×68cmの石像。駐在所近くに位置する。一辺20cmの六角形の石柱の各面に地蔵尊が彫り出されている。
	8	井土八日市公民館前の地蔵	井土八日市公民館前の県道沿いに安置されている。舟形光背(一部欠損)に尊像が半肉彫りされている。台座に文字が刻まれているが判読できない。
古文書・ 歴史資料・ 考古資料	9	黒坂家文書	村所有。

■ 民俗文化財／有形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
信仰の場	10	井土二柱神社	祭神は伊弉諾命、伊弉冉命。昔、出雲国の足日山より迎えた。当時は字井脇に祀っていたが、その後、現在の場所に社殿を建立して祀った。応永の頃(1394～1427)、井土村黒坂城の殿様美作守はこのほか、この神社をして国が安らかに収まるよう祈ったという。明治初年(1868)に二柱神社と名を改め、同年10月に村社となり、同42年須賀神社を合祀した。境内には、愛宕神社(軻遇槌命)、稲荷神社(宇賀御玉命)の二社がある。
	11	井土八幡神社(黒坂神社)	『二方考』の井土村項には「此処ノ氏神トシテ八幡宮ヲ別ニ祭レリ」とあり、井土村氏神とは別に昔から黒坂に住む少数の人達だけで信仰し、維持してきた神社とされる。近代社格は無格社。
	12	井土地蔵堂	井土村の入口の旧道を登った先の広場右側に建つ。地蔵堂中央の厨子の中に、舟形光背納衣立像、共石円形座の尊像を安置する。但馬六十六地蔵尊霊場の第4番札所。

■ 民俗文化財／無形の民俗文化財

分類	番号	名称	概要
年中行事・ 民俗芸能	13	お茗荷祭り(面沼神社)	毎年2月11日午前6時頃から、面沼神社で行われる。普通4月頃に生える茗荷が、この地に限って2月11日(旧暦1月7日)を境に生えるという但馬七不思議の一つで、宮司が境内の「めぬ池」という小さな池の中央にある小島に生えた茗荷を3本取り、池の水で清め、神前に供える。参拝者は、その茗荷の芽の形や大きさ、色ぐあいなどの成長状況でその年の吉凶状況を占う。昔は女人禁制で裸参りもあり、他の村からの来客もあったが、現在では、関係者のみの神事となっている。

分類	番号	名称	概要
年中行事・民俗芸能	14	井土地蔵尊祭	8月23日に行われる。井土地蔵堂の地蔵さん（但馬六十六地蔵尊霊場の第四番）で行われる。
民間説話・俗信	15	おとがいいちにち	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p151参照
	16	千たん参り	※『但馬・温泉町の民話と伝説』（昭和59年、喜尚晃子編纂、手鞠文庫発行）p79参照

■ 記念物／遺跡

分類	番号	名称	概要
散布地・集落跡・生産遺跡等	17	南垣遺跡	奈良時代の散布地。田畑一带に遺物が散布している。
	18	井土福岡遺跡	奈良時代の散布地。井土廃寺跡を中心に遺物が散布している。
	19	井土郡治遺跡	岸田川の改修により、現在、遺跡地は川の中になってしまったが、かつてはここで奈良時代の遺物が採集された。
	20	城ノ内遺跡	城域全域に遺物が散布している。本丸（中心部）は古墳の可能性もある。
	21	八日市遺跡	畑・宅地の全域から遺物が出土する。
	22	井戸ヲミキ遺跡	奈良時代～中世の散布地。
	23	黒坂遺跡	広範囲の畑・宅地に古墳時代～中世の遺物が散布している。
古墳・その他の墓	24	井土古墳	古墳時代の古墳。地蔵堂の西側に位置する直径12m余りの円墳。石造物の残欠が置かれている。
	25	黒坂1号墳	古墳時代の古墳。
	26	黒坂2号墳	古墳時代の古墳。
	27	黒坂3号墳	古墳時代の古墳。
	28	井土中世墓	中世墓。寺谷家の先祖の墓。四角い集石墓数基と板碑1基がある。
城館跡・寺社跡	29	黒坂砦跡	古墳～中世の遺跡。削平地（郭）ある。城館跡。
	30	城坂城跡（井土城跡）	中世の城館跡。城の主郭背後の北西側に堀切などが見られないことから、尾根のさらに上の方に城郭遺構が存在する可能性がある。城は小規模城郭で、「村の城」の範疇に入る。小曲輪群が漸続的に配置されていることから、南北朝期にその築城起源があり、戦国期の改修は殆ど受けていない。
	31	八日市城跡	城館跡。尾根上に削平地があり、その下に3段になった帯郭がある。
	32	井土廃寺	その他寺院跡。古代山陰道の面治駅に比定される面沼神社の北東に位置する。塔心礎をはじめ礎石群が露出し、平瓦数点出土している。塔心礎は直径31cmの柄穴式で、周囲には7cm幅の柱座を明瞭に彫り出している。二方郡の郡寺的な性格のものと考えられる。
	33	黒坂寺院跡	中世の寺院跡。

■ 記念物／動物・植物・地質鉱物

分類	番号	名称	概要
植物	34	井土薬師堂のカシ	井土薬師堂境内のカシ。環境省巨樹巨木林データベースによると、幹周4.03m、樹高20m。過年の大雪による雪害で中高より折損し、樹高に変化あり。